



## 緊急避妊について

### ● 緊急避妊とは？

- 緊急避妊とは、避妊せずにセックスしてしまった場合や、コンドームが破けるなど避妊の失敗が起こった場合などに、妊娠を阻止する方法です。
- 「**緊急避妊ピル**」が一般的ですが、銅が付加された子宮内避妊具 (IUD) を用いることもあります。
- 緊急避妊ピルには経口避妊薬 (ピル) と同じホルモン薬が含まれており、排卵～受精～着床を阻止して避妊効果を発揮します。妊娠してから服用しても効果はありません。

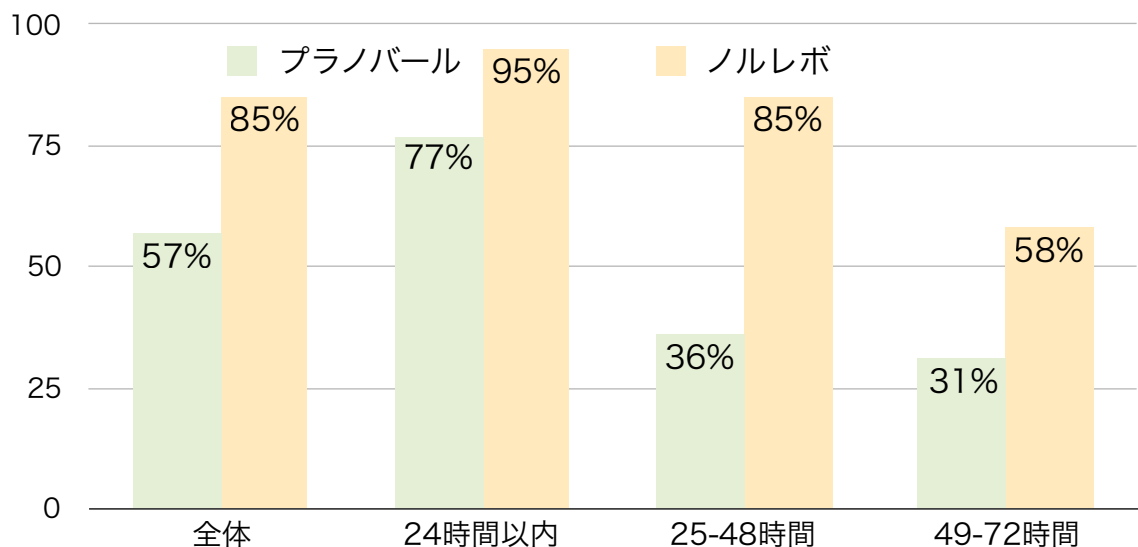
### ● 緊急避妊ピルの服用方法

- 緊急避妊ピルとして2種類のホルモン薬が用いられています。いずれもセックスから**72時間** (最長120時間) 以内に服用します。72時間以上経過すると、避妊効果が弱まりますので、他の方法 (子宮内避妊具) について相談してください。
- **ノルレボ錠**：緊急避妊専用の黄体ホルモン製剤で、緊急避妊法として第一選択とされています。1回1錠の服用で済み、副作用が少なく、避妊効果も高いのですが、費用がかかります (約10,000円)。
- **プラノバール錠**：いわゆる中用量ピルです。性交から72時間以内に2錠、12時間後にさらに2錠を服用します。安価 (約3,000円) ですが、避妊効果が低く、吐き気などの副作用が多いのが欠点です。

### ● 緊急避妊ピルの避妊効果

- 避妊効果は100%ではありません。
- 服用後2時間以内に吐いてしまった場合は、できるだけ速やかに服用し直す必要があります。2時間以降に嘔吐した場合は心配ありません。

緊急避妊ピルの妊娠阻止率 (%)



## ● 緊急避妊ピルの副作用

- 副作用は通常、24時間以内に治まります。

	プラノバール (979例)	ノルレボ (977例)
吐き気	50.5%	23.1%
嘔吐	18.8%	5.6%
めまい	16.7%	11.2%
疲労感	28.5%	16.9%
頭痛	20.2%	16.8%
乳房の圧痛	12.1%	10.8%
下腹部痛	20.9%	17.6%
その他 (下痢、不正出血など)	16.7%	13.5%

## ● 服用後の注意事項

- 緊急避妊ピル服用後のセックスに対しては、避妊効果がありません。別の避妊法が必要です。緊急避妊ピルを服用した翌日から、低用量ピルを開始することができます。
- 服用後の月経は、80%以上は予定日の前後2日以内、95%は予定日から7日後までに始まります。月経が7日以上遅れた場合には、妊娠検査を受けなくてはなりません。
- 緊急避妊ピルの効果は、服用後すぐにわかるわけではありません。不正性器出血や妊娠初期の出血を月経と区別できない場合もあります。
- 緊急避妊ピルを服用したにもかかわらず妊娠してしまった場合、生まれた赤ちゃんに異常が増えることはありません。
- 緊急避妊では、性感染症を予防できません。性感染症が心配な場合は検査を受け、感染の予防についても相談してください。
- **現時点で妊娠を希望していない方には、緊急避妊をきっかけに低用量ピルや子宮内避妊器具など効果の高い避妊法を開始することをお勧めします。**

	向いている方	正しく使い続けた時の失敗率 (妊娠率)	不適切な時も含めた失敗率 (妊娠率)
コンドーム	誰でも可	2.0%	15.0%
低用量ピル	若年者 妊娠経験のない方 月経痛や周期異常のある方	0.3%	8.0%
子宮内避妊器具	出産経験のある方	0.1~0.6%	0.1~0.8%
女性の避妊手術	帝王切開など産婦人科手術を受ける予定のある方 永久避妊を希望する方	0.5%	0.5%
男性の避妊手術	永久避妊を希望する方	0.1%	0.15%